

みなぎの通信



県立吉川高等学校 学校だより
令和5年度 第7号
2023年6月2日(金)発行
【さつき】

生徒もニコニコ「にこにこまつり」ボランティア

5月27日(土)、多世代交流を目的とした「吉川児童館にこにこまつり」が吉川総合公園で開かれ、3年生6名がボランティアとして協力しました。

当日は乳幼児及び小学生とその家族、約100組が来場。子どもたちは「よかわっこ太鼓」などのステージ演奏で体を動かしたり、スーパーボールすくいやヨーヨー釣りなど、縁日のような遊びのコーナーではしゃいだり、消防車などの乗車体験をしたりと、2時間たっぷり楽しんでいました。

本校生の感想を一部紹介します。

「普段、子どもの相手をするのがなく、大変でした。面倒を見る時、小さい子がわかりやすい言葉を選ぶなど、工夫が必要だったけれど、楽しく良い機会でした。」

「子どもたちとの触れ合い方や、年齢に応じた接し方をしないといけないということを学びました。貴重な体験ができてよかったです。」

「小さい子の相手は楽しかったけれど、泣いたりぐずったりしている子どもへの対応がわからなかった。親の対応を見て、親の大変さがよくわかりました。」

ボランティアを通して、むしろ貴重な体験、勉強をさせてもらった生徒たち。きっと、多くの子どもたちの笑顔や保護者からかけてもらった「ありがとう」の言葉が何よりのご褒美であり、自信と財産になったはずです。



思わぬ展開「吉川高校ナウ」

FMみっきい「みきらぢサンナナ」で月1回放送の「吉川高校ナウ」。5月29日は3年生1名、2年生2名が出演しました。

学校での事前の打ち合わせでは、23日に実施した渡瀬老人会の方々の花植えと茶話会の様子を具体的に語ってもらい、本校と地域との結びつきの強さを公共の電波に乗せてアピールするはずでしたが…。

いざ本番。話題は部活動や文化祭等、学校生活の多岐にわたりました。



一番よくしゃべった〇〇君。実際の様子を知っている者からすれば、ツッコミどころ満載というより、ツッコミどころしかなかったのですが、大いに盛り上げてくれました。ラジオなのに、ジェスチャーで訴える場面もあったようです。

次に口数が多かった□□君。質問に対して落ち着いたある口調で的確に答えていて、ずいぶんと見直しました。

出番が少なかった◇◇君。話すことをばっちり予習していたのですが…。促されて話す様子からは、シャイで誠実な性格が感じられ、好印象でした。

番組としては、一般リスナーに本校の楽しい学校生活の雰囲気が十分に伝わる貴重な18分間となりました。

教員が登場した過去の放送分も含め、本校Webページに番組のリンクを貼っています。ぜひお聞きください。

⓪ 喜び Ⓜ 感動 Ⓜ 分かち合って 50年!
高 兵庫県立 吉川高等学校

〒673-1129
三木市吉川町渡瀬300-12
Tel 0794-73-0068

